

## 直用システムを柱として 夢と希望ある職場づくりを

ビッグプロジェクトの施工を数多く手がけている内装仕上げ工事業のサンオキ。早くから、作業員を社員として採用する「直用システム」を導入して人材の育成に力を入れ、夢と希望を持って働ける職場づくりに努める。また、複数の工種を施工できる「多能工」の育成にも取り組む。

株式会社サンオキ・東京都

株式会社サンオキは、東京都板橋区に本社を構える内装仕上げ工事の専門会社である。現在、社員約150人、協力会社の作業員約250人という体制で、「軽鉄下地工事（壁や天井の下地となる軽量鉄骨をコンクリートに据え付ける工事）」や「ボード工事（軽鉄下地に石膏ボードを張り付ける工事）」などの事業を幅広く展開している。

### 「直用システム」を導入

同社では、「和」を中心に据えた「責任・和・誠実」を社是としている。これは、責任を持って、誠実に仕事に取り組む中から、「和」が生まれるという考え方による。この社是に基づき、会社の目的として、「日本一の内装業者に成る」、「お客様に可愛がられ信頼される会社となる」など、4項目を掲げている。

これらを実現するために力を入れているのが、「直用システム」を柱とする人材の育成である。直用システムは、現場で働く作業員を社員として採用するものであり、専門工事業界では稀な取り組みといえる。

新卒者を採用しているため、管理部門を除く社員の平均年齢は27歳と、行動力、機動力に富んだ社員構成となっている。

### 礼儀・礼節を重んじ、教育指導を徹底

新人の教育訓練は入社前から始まる。「2、3日かけて、まずは基礎知識を学んでもら



毎月、勉強会を開催

新入社員研修の様



います。入社後は、3～8人編成の各グループへ配属し、グループのリーダーや先輩がマンツーマンで指導しています」とのこと。本社に実技の訓練を行う「架台室」が設けられており、そこで各種研修や技量検定を実施する。寮の火災など万一に備えて避難訓練も行っている。

同社の教育訓練は技術指導だけでなく、礼儀・礼節や身だしなみなどを重んじているのが特徴。これは、「礼儀・礼節から始まる安全意識」、「安全は身だしなみから」、「安全は体調管理から」といった、安全に対する考え方に基づいている。

このほか、社員のレベルに合わせた「勉強会」を毎月テーマを決めて開催している。

こうした取組みにより、国家資格である1級・2級の「内装仕上げ施工技能士」などの試験を受ける社員は全員合格と、優れた成績を収めている。

また、同社では、作業員1人ひとりの価値が高まるとともに、作業を効率的に進められることから、早くから「多能工」の育成にも取り組んでおり、最低でも、軽鉄下地工事とボード工事の2工種の施工ができるよう指導している。

## 不安全行動の撲滅を目指し1人KY推進

同社の特徴的な取組として、品質・コスト・工程・安全・環境保全の英語の頭文字をとった「QCDS E管理」にも全社を挙げて取り組んでいる。

このうち、安全衛生については、年度ごとの管理計画を作成して重点施策などを確実に推進している。計画内容は、常に携帯して何度も読み返せるよう、品質管理と合わせて、「安全衛生管理計画 品質管理のしおり」という冊子にまとめ、直用の社員や協力会社の作業員に配布し周知徹底を図り、継続的に注意喚起している。

併せて、いつでも注意内容を確認できるよう、「これだけは守ります」、「指差し呼称で1人KY!」、「アーク溶接KY」、「熱中症警報」などの安全カードを配布したり、「災害防止協議会通信」や「体調自己チェックリスト」を作成してフォローしている。

このほか、安全衛生管理の徹底と推進のため、工事部の会議を毎週、全社員が集まる全体会議やリーダー会議などを毎月、協力会社の会議を年3回開催している。安全パトロールは、「安全部」、「品質・5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）＋挨拶」、「合同」などを、自主安全チェックリストに基づいて入念に実施している。「合同」とは、社員で組織する「沖誠和会」と、協力会社で組織する「誠栄会」が、合同で実施する安全パトロールである。